

# 多くのボランティアが復旧作業支援

「熊本甲佐総合運動公園」大雨で土砂流入



▲大雨による浸水害で、人工芝がはがれた熊本甲佐総合運動公園サッカー場



▲泥かきを行う「サンズ甲佐」と「フレグラント熊本」の子どもたち



▲町内外から駆け付けたボランティア

■地元サッカーチームや町内外から数多くボランティアが

7月3日（月）本町全域が記録的な大雨に見舞われ、熊本甲佐総合運動公園が浸水し、土砂流入などで被害を受けたサッカー場など大半の施設で使用ができなくなりました。

同運動公園は、熊本地震の復興のシンボルとして整備され令和4年6月に全面供用を開始。イベントや各種大会などで多く利用され、本町のにぎわいを創出してきました。

同運動公園を練習拠点に持つサッカーチーム「サンズ甲佐」と「フレグラント熊本」が7月3日（月）と5日（水）に同運動公園のサッカー場の泥かきなどを実施。8日（土）には地元住民や町外から約200人のボランティアが訪れ、復旧作業を行いました。

▼お問い合わせ先

町社会教育課

☎096・234・2447

（内線325）



# 水辺の事故を防ぐために

近年、全国で局地的な集中豪雨が多発し、これに伴う河川水位の急な上昇により痛ましい事故の発生も報道されています。

夏は、海、川、プールといった水の近くでの活動が増え、甲佐町でもアユ釣りや河川敷で遊ぶ子どもたちの姿が見られます。ケガや事故で楽しい夏を台無しにせず、みんなで楽しく無事に、暑い夏を乗り越えましょう！

## 水の事故を防ぐ基本的な注意事項

### 遊泳禁止の場所では泳がない

「遊泳禁止」もしくは「危険」などの看板が設置されている場所では、「水温が低いなど温度差が大きい」、「藻が茂っていて、絡みやすい」、「急に深くなる」などの危険個所があります。

海や川、池などでは水面上からは分からない危険がたくさんありますので、遊泳禁止の場所では絶対に泳がないようにしましょう。

### 危険につながる情報や知識を把握

海や川などの特徴を理解し、水の事故につながりやすい危険な場所などを知っておくことが重要です。

海では…岸に近い場所でも、沖へ流れる早い潮の流れが急に発生して沖に流されたり、同じ場所であっても潮の満ち引きや天候などで流れが変化したりします。

川では…上流での集中豪雨やダムの放流などで急に増水し、深さや流れの早さが変わることもあります。

海や河川だけに限りません

身近な場所にも危険は多くあります

用水路やため池などに誤って転落する事故もあります。特に雨が降っている日や、前日に雨が降った日などは、水辺には近づかないようにしましょう。

水がない場所においても、斜面やぬめりなどにより足を滑らせて転落するケースもあります。

## 保護者の皆さんへお願い

- ・危険な場所で、子どもだけでの水遊びをさせないようにご注意ください。
- ・お子さんと危険個所の確認を行うなど、命を守る行動がとれるようにご指導ください。
- ・命の大切さについて、家族で話す機会を設けましょう。

## 健康状態を把握！

### 飲酒状態でのレジャー厳禁

体調がすぐれない状態で泳いだりすると、事故につながる危険性が高くなります。適度に休憩を取り、長時間の遊泳はやめましょう。

遊泳中の事故では、飲酒をした場合と飲酒をしなかった場合とを比較すると死亡率は約2倍となっており、飲酒後の遊泳における事故が後を絶たしません。注意事項を守って海水浴を楽しみましょう。

